

## 【農業分野】地域の団体・事業者との意見交換会概要

区分	実施日	地域団体等参加者数（人）		
		農業協同組合	複合経営拠点、集落営農組織、農業公社、 農業参入企業、畜産団体、生産者	計
物部川地域	R元.7.8	6	7	13
高幡地域	R元.7.10	5	8	13
仁淀川地域	R元.7.11	5	9	14
安芸地域	R元.7.12	4	11	15
嶺北地域	R元.7.16	2	10	12
幡多地域	R元.7.17	5	9	14
高知市・土佐市地域	R元.7.18	7	8	15
計		34	62	96

## 1 県産業振興計画の取り組みへの評価

## (1) 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化

○前向きな取り組みにより成果につながっている。これからも続けていただきたい。

＜高知市・土佐市＞

○環境制御技術の導入により、増収につながっている。

＜物部川、高幡、幡多、高知市・土佐市＞

○生産額が伸びたことを評価をする。全体的には良い方向に向かっていると感じている。

＜高幡＞

○委託事業で専門指導員を配置してもらい、発芽や病害虫の試験研究により大変助かっている。

＜仁淀川＞

○優良系統である県選抜系統2号によって、きれいなユズが生産できるようになった。＜安芸＞

○中山間地域の生きがいが始まった土佐ジローは、評価と知名度が上がり産業として成立している。＜安芸＞

○畜舎や農機具の支援をいただいた。昨年度はアドバイザー制度を活用し、今年の売り上げは昨年度比3～4倍になった。＜物部川＞

○補助事業で孵卵器を導入し、生産が安定してきた。＜物部川＞

○レンタル畜舎の制度は大変助かっている。＜安芸、幡多＞

○土佐あかうしも増えた。正職員を4名雇用し、これから稼いでいける。＜嶺北＞

○お米の普及に関する支援を強化してほしい。＜高知市・土佐市＞

○企業や資本があり規模拡大を目指す農家はかなり前進して良いと思うが、家族経営が中心の地域の農家にとっては、一部しか恩恵を受けられていないのではないかと。＜高知市・土佐市＞

## (2) 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

○行政と集落活動センター等との連携により、いろんな提案が出てきたことで生産者に活気が出るなど、農家も喜んでいる。＜高知市・土佐市＞

○集落営農を進めるにあたり、共同利用機械の導入などの補助事業を活用することができた。

＜嶺北＞

○複合経営拠点事業を活用して機械の導入等が進んだ。＜嶺北＞

## (3) 流通・販売の支援強化

○県版GAPの取り組みにより、異物混入の減少につながっている。＜高知市・土佐市＞

○「天空の郷」のブランド化の支援により、2度目の日本一になった。また、収入も上がった。  
＜嶺北＞

○選果場等の関係施設の改修等を支援していただきありがたい。＜仁淀川＞

○県として県外への販売に力を入れてくれている。＜高幡＞

#### (4) 生産を支える担い手の確保・育成

○研修ハウスを建て、新規就農者を2年前から受け入れている。補助金も活用できて助かっている。＜高知市・土佐市＞

○生産部会の人が増え、収量も増えており、良い方に向かっている。＜高知市・土佐市＞

○就農支援資金を活用して若い人がどんどん農業に取り組んでいる。＜仁淀川＞

○産地提案書の取り組みにより、新規参入者が増えた。また、担い手育成センターでの研修は早期の経営安定につながっている。＜物部川＞

○畜産の後継者が確保できている。＜嶺北＞

○親元就農の補助事業について、より充実させてほしい。＜幡多＞

○産地提案書が作成されているが、あまり機能していない。＜高幡＞

#### (5) 地域に根ざした農業クラスターの形成

○次世代型ハウスの整備やクラスターの補助等を活用させていただいて非常に助かった。  
＜仁淀川＞

## **2 県産業振興計画の次のステージに望むこと**

### (1) 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化

○ハウス資材が高騰しており、中古ハウスの活用を含めた対策が必要。

＜物部川、高幡、安芸、嶺北、高知市・土佐市＞

○レンタルハウスの補助基準価格が低すぎるため、引き上げてもらいたい。＜高知市・土佐市＞

○露地農家を支援する施策がもっとあれば良い。＜仁淀川、幡多＞

○小規模な家族経営や高齢農家に光を当ててもらいたい。

＜仁淀川、安芸、幡多、高知市・土佐市＞

○施設や機械設備の補修や更新にも補助が受けられるようにしてほしい。

＜仁淀川、高知市・土佐市＞

○次の世代にも生姜を作っていってもらうために、作りやすさや病気に関する研究を県で進めてほしい。＜仁淀川＞

○「カイゼン」の取り組みを継続する動機付けが難しいので、良い取組事例を情報提供してほしい。＜仁淀川＞

○使い勝手の良い事業を組んでもらっている。恒久的に支援していただきたい。＜仁淀川＞

○ハウスのスペックや規模に応じて集積されたデータを積極的に提供してもらいたい。

＜仁淀川＞

○産地パワーアップ事業の恒久的な継続をお願いする。＜仁淀川、安芸＞

○環境制御技術を導入していない農家を含め、産地全体のレベルアップが必要。＜高幡＞

○スマート農業を取り入れて人手不足を解消していく必要がある。＜高幡＞

○シシトウの箱詰め機やイタダリの皮むき機等、省力化に向けて機械化に取り組む必要がある。

＜物部川、高幡、高知市・土佐市＞

○電気に注目した代替燃料の普及に取り組むべき。省エネは農家の所得向上に繋がる。産地パワーアップ事業ではヒートポンプ導入に対する補助は除湿と冷房に限られているので、加温も対象に加えていただきたい。＜高幡＞

○飼料米に取り組んでいるが効率が悪く黒字化が難しいので、支援をお願いしたい。＜高幡＞

- 稲作農家への支援が地域の活性化につながるのではないかと。〈物部川〉
- 農業参入希望者のために篤農家の技術をデータ化して活用することで、誰もが取り組みやすい農業にしてほしい。〈物部川〉
- 新規就農者が導入しやすい低コストハウスの取り組みをお願いする。〈幡多〉
- 園芸用ハウス整備事業は無くってはならない事業なので、継続してほしい。〈安芸、幡多〉
- 畜産農家の規模拡大にあたり、堆肥の活用が課題になっている。
  - 〈高幡、幡多、高知市・土佐市〉
- 堆肥舎の老朽化に対する支援と、畜舎の移転にあたっての移転先候補用地の情報提供などをお願いする。〈高知市・土佐市〉
- 土佐ジローの雛の安定供給のために、安定的な種卵生産をお願いしたい。〈安芸〉
- 土佐あかうしや土佐和牛について、繁殖の担い手は増えてきたが、肥育農家は減少している。肥育農家の育成にも取り組んでほしい。〈安芸〉
- 子牛の価格が低下しているので枝肉価格の安定対策をお願いする。〈安芸〉

## (2) 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

- 条件不利地において、スマート農業を上手く活用することで、生産意欲と品質の向上、農地の保全につながると思うので、継続して取り組んでほしい。〈高知市・土佐市〉
- 中山間地域では、1つの営農組織だけでは地域の農業を守っていけないので、県の指導をいただきたい。〈仁淀川〉
- 中山間地域の農地の受け皿として、複合経営拠点の拡充と機械導入への支援が必要。〈高幡〉
- 集落営農組織の収支が課題であり、組織化だけでなくフォローも必要。〈高幡〉
- 中山間地域でも使いやすい支援制度を望む。〈高幡〉

## (3) 流通・販売の支援強化

- よさ恋美人の消費拡大に必要な予算を確保して取り組んでいただきたい。〈高知市・土佐市〉
- 農産物のコールドチェーンをどのように構築していくのか、ともに考えていきたい。
  - 〈高知市・土佐市〉
- 6次産業化の取り組みの継続と充実をいただきたい。〈安芸、嶺北、高知市・土佐市〉
- 集出荷場の整備、再編への支援をお願いする。〈物部川、高幡、安芸、嶺北〉
- 商談会の開催やバイヤーとのマッチングを積極的に行ってほしい。〈物部川、安芸〉
- 二のそぐりセンターにおける生産性の向上が、規模拡大の課題となっている。〈仁淀川〉
- 国内の米の消費量が減ってくるので、輸出に力を入れていただきたい。〈幡多〉
- 収穫の労力を分散するためにもユズの青玉の販路拡大が課題。〈安芸〉
- 受注業務を代行してくれるサポートセンターのようなところがあればありがたい。〈高幡〉

## (4) 生産を支える担い手の確保・育成

- 農地を次世代に残すため、中間管理機構の農地集積の要件を国が緩和してでも取り組んでもらいたい。〈高知市・土佐市〉
- 外国人労働者の住居を農協で確保するのは難しいため、行政がリーダーシップを持って進めてほしい。〈高知市・土佐市〉
- 担い手や労働力（集出荷場等含め）の確保に向けた取り組みをお願いしたい。
  - 〈物部川、高幡、仁淀川、安芸、嶺北、高知市・土佐市〉
- 後継者の確保が厳しい状態で、特に出口となる農地の確保が非常に難しい。
  - 〈高知市・土佐市〉
- 労働力の確保対策として、他の産業との連携にも継続して取り組んでいきたい。
  - 〈高知市・土佐市〉

- リタイヤした方などが収益を上げながら荒廃農地を分割して保存し、担い手にバトンタッチをしていける施策も必要と考えている。〈高知市・土佐市〉
- 条件不利地であっても、せめてトラックが入る作業道が付けば、農地も生産量も守っていけると思う。〈高知市・土佐市〉
- 中山間地域のほ場整備が進んでおらず、ほ場整備をしても生産効率が悪い土地がある。このようなほ場に、少ない負担で機械が入る取り付け道などを整備する方法はないか。〈仁淀川〉
- 新規就農時のハウス建築などに多額の費用を要するので、補助制度を含めていかに軌道に乗せるかが課題。〈高幡、仁淀川〉
- 井戸の掘削に対する補助事業がほしい。〈物部川〉
- 農道、水路の維持管理も厳しくなってきた。そのための基盤整備をできるだけ進めていきたいので、支援をお願いしたい。〈物部川〉
- 水田の保全管理への支援をしてほしい。〈物部川〉
- 研修制度を利用して安心して就農できるよう、農業次世代人材投資事業の継続を望む。〈安芸〉
- 農福連携は福祉関係も含め、個々の場面で細やかなサポートが必要。〈安芸〉

### 3 その他

- 昨年7月豪雨等の復旧支援は助かった。おかげで去年は経営も続けられた。〈安芸、高知市・土佐市〉
- 昨年7月豪雨への迅速な対応に力強さを感じた。果樹の改植支援は被災農家にとって有効なので継続を望む。〈安芸〉
- 鳥獣害対策の継続と十分な予算の確保をお願いしたい。〈安芸、幡多〉